

## 会議録

報告者 和久田 直孝

会 議 名	浜松市公共事業評価委員の会議		
日 時	平成 30 年 2 月 13 日 (火) 10:30~11:40	場 所	クリエート浜松 5 階 53 会議室
出 席 者	公共事業評価委員 豊橋技術科学大学 理事及び副学長 大貝 彰 静岡文化芸術大学 デザイン学部デザイン学科 准教授 中野 民雄 NPO 法人まちづくりネットワーク WILL 理事長 平澤 文江		
	事業課 道路企画課 菅谷課長、白石副技監、高橋主任、鳥居主任 道路保全課 加藤課長、毛利技監		
	事務局 技術監理課 山村課長、木下補佐、和久田副技監、唐沢主任、浅田主任、 阿部主任		

### (1) 事前評価

#### ①一般国道 152 号 (池島～大原) 【土木部道路企画課】

《事業課の道路企画課による説明》 10:38~10:56

《委員からの質疑と応答》 10:56~11:12

#### <大貝委員>

この事業は、B/C だけでなく資料の「整備の必要性」の 3 項目のためにも緊急に実施すべき事業と考えます。

- ・ 定量的効果のうち水窪協働センターからリニア長野県駅及び西浦地区から聖隷三方原の所要時間算出の前提条件となる道路整備状態は、三遠南信自動車道が全線整備完了状態か、整備途中段階状態であればどの程度の整備済状態としていますか。
- ・ 受けようとする個別補助対象事業は「高規格幹線道路 IC の整備とあわせて行われるアクセス道路整備事業」ですが、本事業区間は高規格幹線道路ではなくアクセス道路との解釈が良いのですか。

#### <道路企画課>

- ・ 所要時間算出の前提条件は、現在までに着手済の区間を整備済みの状態としています。
- ・ 本事業区間は将来できる水窪 IC 及び水窪北 IC へのアクセス道路と位置付けられます。

#### <中野委員>

長野県、愛知県、静岡県をつなぐ三遠南信自動車道整備事業は効果的で価値のある事業と考えます。また、住民との合意形成がなされていることは評価します。

- ・ 整備による交通量増加及び山の中の条件のもと、夜間環境、歩行者、自転車への配慮についてどのように考えていますか。
- ・ 気象条件への対応として、雪に対しどのような対応・対策を考えていますか。

<道路企画課>

- ・歩行者等の安全確保や照明灯については地元とも協議し配慮します。

<道路保全課>

- ・現在当区間では積雪 5cm 通行注意、20cm 通行止めの通行規制基準があります。整備後も現在と同様に定期的な融雪剤散布を行います。また、通行車線外となる現道曲線部を利用したチェーン着脱所等の整備計画も検討しています。

<平澤委員>

- ・この区間だけなぜ高規格道路で整備をしないのですか。
- ・高規格道路の速度感覚でこの一般道区間を高速で通行する車両が増え、積雪による事故や鹿等動物との接触事故が増えるのではないかと懸念します。他自治体の先進事例も参考に安全対策をしていただきたい。
- ・個別補助金に移行することで本事業が計画的着実に進められるようになりますか。また、移行について現在ほどの段階にありますか。

<道路企画課>

- ・三遠南信自動車道を 1 日でも早く全線開通させるために、国、長野県及び浜松市が事業分担し、この区間を現道活用区間としました。
- ・鹿等動物への対策について、既に開通している長野県の現道活用区間も参考に、構造（ハード）対策と看板等（ソフト）対策をしたいと考えています。
- ・個別補助金では本事業に対して補助金が充てられるため、事業計画が立ち易くなります。また、高規格幹線 IC アクセス道路整備事業は国の重点事業でもあり、事業推進には有利になると考えています。また、本事業は、水窪 IC の開通時期が公表され次第、個別補助金に移行可能となります。なお、この後審議いただく国道 473 号（川合～中部）は平成 30 年度から個別補助化される予定です。

<大貝委員>

- ・総事業費の中に安全対策費用も含まれていますか。また、補助対象となりますか。

<道路企画課>

- ・資料に示す総事業費には安全対策費用も一定程度見込んでいます。また、必要な対策費用であれば補助対象となります。

<平澤委員>

- ・安全対策をはじめ細かな地元の意見要望を聞いていただける機会がありますか。

<道路企画課>

- ・決められた道路構造や規格や線形の変更はできませんが、付随するものについては地元説明会等の機会も利用して地元意見を伺いながら事業を進めたいと思います。

<大貝委員>

委員3名とも事業推進は賛成です。夜間、歩行者、積雪時等への安全対策を考慮し、地元と十分に協議をしながら事業を進めていただきたい。

【まとめ】

<事務局>

大枠で事業推進は賛成。付帯意見として、夜間、歩行者の安全対策、災害時の対応を十分に考慮し、地元とも話しながら進めていただきたい。この様なまとめでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

②一般国道473号（川合～中部） 【土木部道路保全課】

《事業課の道路保全課による説明》 11：12～11：29

《委員からの質疑と応答》 11：29～11：38

<大貝委員>

基本的には早期に実施すべき事業と考えます。環境、景観への配慮については、地元と協議しながら進めていただきたい。

<中野委員>

・ダムがその役割を果たしていると思いますが、川の氾濫が過去10年20年でありましたか。

<道路保全課>

・ダムが整備されている中で、下流側での氾濫はありません。

<中野委員>

落橋事故もあり、この事業では一刻も早い橋の復旧と住民への安心が最も必要と考えます。地元と協議し最大限安全へ配慮されていると思いますが、事故が起きた場合の対処方法や地元との連携をしっかりと行うことを望みます。

<平澤委員>

地元も一刻も早い開通を望んでいます。この場所に不安感を抱く地元の方も多くいるので、地元協議の際にはこのことについてもこころ配りいただき、これまでと同様に丁寧な説明をしていただきたい。

・個別補助金に移行することで、開通が早まることはありますか。

<道路保全課>

- ・工期は今のところ予定通りです。予定をより確実にするための個別補助金への移行となります。
- ・不安感を抱く地元の方がおられることに配慮して丁寧な説明に心掛けます。

<平澤委員>

- ・三遠南信自動車道佐久間 IC から水窪 IC 間のルートには建設中の原田橋は含まれますか。

<道路企画課>

- ・別ルートとなります。

<大貝委員>

委員 3 人とも事業実施に問題はなく、早急な完成を望みます。安全、環境、景観等への配慮については地元と十分協議し、工事にあたっては災害等への安全に十分配慮していただきたい。

【まとめ】

<事務局>

大枠として事業実施に問題はなく、安全、環境、景観面等は地元と話をしながら適切に実施していただきたい。この様なまとめでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし